

# 「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」 【5月の学校経営方針】

## ◎「ゴール」を描く→「ねらい」を意識した具体的な「ゴールの姿」！

全ての取り組みにはひとつひとつに意味がある。何のためにそれを行っているのか、どうしてそうしなければならないのか、そのねらいや意図を意識しないと取り組み手段そのものが目的になってしまうことがある。改善のための手段はいくらでも考えられる。ひとつのやり方が上手いからといって、そこであきらめたら終わりである。大切なのは、「何のために」を行っているのかという意図性である。手段はその後に決めて、取り組めばよいのである。

5月は、「ねらい」を意識した具体的な生徒の変化（成長）をつくるために、「ゴールの姿」をイメージできるようにしていきたい。さらに、その達成度を意識し、次につながるような指標も共有していきたい。

## 「白山ブランド」の構築のために

### (1) 授業改善（主体的・対話的で深い学び・UD）

- 明確な学習課題の設定，学習形態の工夫，振り返りの確保
  - ・原則「？」で課題を設定し，問題解決型で授業を進める。
  - ・一人で考える，ペアやグループで考える，全体で思考する場を設定する。
  - ・「何がわかったか？」「何ができたか？」という問いでメタ認知を作る。
- UDの視点に立った学習ルールの確立
  - ・教室環境，板書計画，教科のルーティンづくりを意識的に取り組む。

### (2) 心の教育（道徳，いじめ，生命，思いやり）

- 「考え議論する道徳科」を意識した学びの場の設定
  - ・価値項目を明確にし，わかりやすいが難しい話し合いのテーマを提示する。
- いじめ根絶のためのアクティブ・ラーニングの導入
  - ・生徒指導の機能を生かした授業，自治的で主体的な生徒活動，自律的な部活動

### (3) 安全安心（健康・体力向上，メンタル，防災，食育）

- それぞれの活動に対する指標を明確に位置づける。
- 連続欠席3日の報告と具体的な対応を共有する。
- 校内適応教室の運営・改善による長欠対策の推進を図る。

### (4) 生徒主体（行事，生徒会，部活）

- 各学年の校外学習での生徒主体の比率を3（1年）：6（2年）：9（3年）を目指す。
- 学校生活の改善に向けた主体的な生徒会活動，委員会活動を組織する。

### (5) 三大伝統（挨拶，歌声，清掃）

- 「明るく元気な挨拶」→各活動，各場面での挨拶のイメージ化を！
- 「美しく響く歌声」→校内に響く「歌声」の日常化！
- 「心を磨く清掃」→モデル清掃の意識化！

### (6) 地域貢献（福祉教育・ボランティア活動）

- 学力向上のための放課後学習ボランティア（放課後学び隊）を立ち上げる。

5月は，教科経営・委員会（部会）経営・学級経営・部活動経営・校外学習等，一年間の活動のベースとなる月である。それぞれの活動が何に向かっているのかをはっきりさせていかなければならない。それは「こうなったらOK」というものを共有することである。